

みずほCustomer Desk Report 2018/03/01 号(As of 2018/02/28)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.43	1.2226	131.36	1.3902	0.7794
SYD-NY High	107.52	1.2241	131.50	1.3916	0.7819
SYD-NY Low	106.57	1.2188	130.05	1.3757	0.7760
NY 5:00 PM	106.67	1.2195	130.08	1.3760	0.7762
NY DOW	25,029.20	▲ 380.83	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,273.01	▲ 57.35	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,713.83	▲ 30.45	米国2年債	2.2560	▲ 0.80bp
日経平均	22,068.24	▲ 321.62	米国5年債	2.6443	▲ 2.02bp
TOPIX	1,768.24	▲ 22.10	米国10年債	2.8633	▲ 3.65bp
シカゴ日経先物	21,920	▲ 260.00	独10年債	0.6535	▲ 2.10bp
ロンドンFT	7,231.91	▲ 50.54	英10年債	1.5000	▲ 5.90bp
DAX	12,435.85	0.00	豪10年債	2.7750	3.05bp
ハンセン指数	30,844.72	▲ 423.94	USDJPY 1M Vol	8.45	0.23%
上海総合	3,259.41	▲ 32.66	USDJPY 3M Vol	8.29	0.24%
NY金	1,317.90	▲ 0.70	USDJPY 6M Vol	8.46	0.18%
WTI	61.64	▲ 1.37	USDJPY 1M 25RR	-1.04	Yen Call Over
CRB指数	193.95	▲ 1.45	EURJPY 3M Vol	8.69	0.36%
ドルインデックス	90.68	0.32	EURJPY 6M Vol	8.88	0.25%

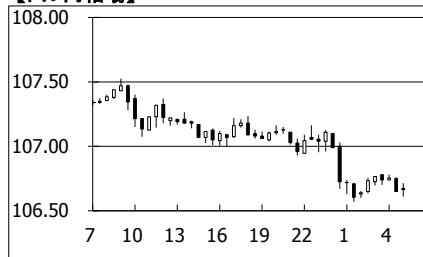
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月28日	10:00	中 製造業/非製造業PMI	2月 50.3/54.4	51.1/55.0
	19:00	欧 CPIコア(前年比)	2月 1.0%	1.0%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q 2.5%	2.5%
	22:30	米 個人消費	4Q 3.8%	3.6%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前期比)	4Q 1.9%	1.9%
3月1日	4:05	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁「賃金上昇とインフレの高まりを容認する必要がある」		

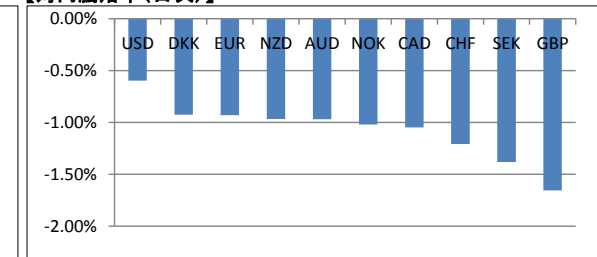
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	10:45	中 財新・製造業PMI	2月 51.3	51.5
	22:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	1月 0.3%/0.2%	0.4%/0.4%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	1月 0.3%/1.5%	0.2%/1.5%
	23:45	米 マークイット製造業PMI(確報)	2月 55.9	55.9
3月2日	0:00	米 ISM製造業景況指数	2月 58.7	59.1
	0:00	米 パウエルFRB議長 上院議会証言	-	-
	1:00	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00—107.00	1.2150—1.2250	129.00—130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は、軟調な展開。日銀のオペ減額を受けた円買いにドル/円は上値重く推移し海外時間入り。ユーロ/円が昨年9月安値を下抜けると円買いに拍車がかかり、ドル/円は106.57円まで下落し、106円台後半でクローズ。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。昨日、米株市場が大きく下落したことや円高地合いを嫌気し、日経平均株価も軟調推移が見込まれる。リスク回避的な円買いが優勢となりそうで、本日のドル/円相場は上値の重さを確認することになりそうだ。

東京	東京時間は107.43レベルでオープン。前日のパウエル議長の議会証言が予想より効派だった影響からか、朝方はドル買い優勢で始まり107.52まで小幅に上昇。しかし、日銀が国債買い入れオペで超長期ゾーンを前回比100億円減額したことを受けて円買いが進み、ドル円は107円台前半まで下落した。その後は一旦反発したものの、日経平均を含むアジア株がほぼ全面安となるなかドル円の戻りは鈍く、次第に軟調推移となり107.12レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.13レベルでオープン。日銀国債買い入れオペ減額を受け、欧州勢も円買いで反応。106.93円まで軟調に推移し、106.95レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3890レベルでオープン。注目されたバル・EIEU交渉官の草案公表では、12月時点の合意内容が繰り返されるのみで、殆ど新たな材料はなく、英国側の要求は無視された。特に、移行期間について、所与ではないと強調され、英国の楽観論をけん制する向きが強かった。その後、英議会で、同草案について議論されたが、英首相は到底合意できるものではないと応酬。さらに、英保守党の閣外連立を組むフォスター・DUP党首は、離脱条約草案にあるアイルランドの取り扱いについて違憲であるとして一蹴し、双方の溝がかなり深いとの見方から、ポンドは一段と売られ、1.3808まで下落し、1.3822レベルでNYに渡った。ユーロは、1.2225レベルでオープン。週末に、独大連立を問うSPD議員投票やイタリア総選挙等の重要イベントを控えていることから、地政学的リスクを嫌気したユーロ売りが優勢。1.2199に低下し、1.2219レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日銀国債買い入れオペ減額等を受け円買い優勢の展開となり、106.95でNYオープン。朝方発表の4Q GDP(2次速報)は1次速報から小幅下方修正となったが、堅調な内需が確認されたこともあり、相場への影響は限定的となった。しかし、ユーロ売りのフローが散見されるなか、ユーロ円が昨年9月15日につけた安値130.64を下抜けストップを巻き込みながら急落したことから、ドル円も連れ安となり、本日安値106.57まで下落。その後は106.78まで回復するも、株価が軟調に推移するなか戻りも鈍く、レンジ内での小動きに終始し106.67でクローズ。一方、1.2219でNYオープンしたユーロはユーロ売り地合いのなか、海外時間安値1.2199を下抜け本日安値1.2188まで下落。一旦は1.2222まで反発したが、軟調な株価を横目にユーロ円が朝方つけた安値を下抜け130.05まで下落したことからユーロドルも再び1.22台を割り込み1.2193まで下落し、1.2195レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：矢野・鶴田